

消防だより



Vol.005

お問い合わせ 上ノ国消防署 ☎0139-55-2071

火の用心！秋の火災予防運動

10月15日(火)から10月31日(木)まで秋の火災予防運動が始まり、それに伴って10月20日(日)には火災予防を各地域で呼びかける町内パレードを行います。

9時から湯ノ岱方面、11時から小砂子方面へ出発し、15時30分からはショッピング小林、トライマート前の駐車場にて、上ノ国町婦人防火クラブが火災予防を呼びかけながら、予防啓発用品を配布しますのでぜひお越しください。

これからの季節はストーブ等の暖房器具を使用することが多くなり、空気も乾燥することから特に火災が発生しやすくなります。

火災による痛ましい事故を防ぐためにも、ご使用の際には、火の取扱いに十分に注意するようお願いいたします。



子どもも大人も楽しんだ消防フェア初開催!!



放水体験



ロープ渡り体験



ドクターヘリ登場



消防車試乗体験

ご来場ありがとうございました!!

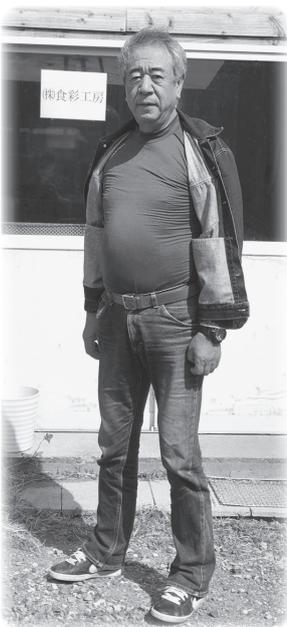
8月25日(日)、スポーツセンター前を会場に上ノ国消防フェアが開催され、多くの方々に来場いただきました。

上ノ国町では初開催となった消防フェアでは、ドクターヘリも飛来し、公開された機内に親子で試乗する姿が見られたほか、大人気の消防車試乗体験をはじめ、放水体験、消火器体験、濃煙体験、ロープ渡り体験、救急車展示と6つの体験広場は、子供だけではなく、大人の方にも大好評でした。

また来年も開催しますので、たくさんのご来場をお待ちしています。

INTERVIEW

まちのひと紹介 第4回 佐藤 武人さん(字大留) 『加工食品で上ノ国を売り込む』



氏名：佐藤 武人
年齢：64歳
趣味：釣り・料理

字大安在出身の佐藤さんは、(有)食彩工房などを中心に、海産物の加工食品を販売している方です。

佐藤さんは、本町で開催された第一回食遊祭に出品し、表彰されたことで当時審査委員だった檜山振興局長から商品化を勧められ、事業化を構想し、それが現在の食彩工房に繋がったとのこと。

現在、佐藤さんは東京や大阪、四国など全国の物産展に年20回以上出店し、海産物の加工食品を中心とした多くの商品を販売され、その味は各地で親しまれており、一昨年には北海道から北のハイグレード食品として表彰され、その味が認められています。

当初、事業にあたっては、収益を上げるため、いかに上ノ国の原材料に高い付加価値を与えられるかに注力し、そこで目を付けたのがホッケだったそうです。

当時、市場に出荷されるホッケは高額で取引され、漁業者の収入源となっていました。味は変わらないのに体格が小さなホッケは脂の入りが悪いということで安価に取引されており、こ

れに何か付加価値をつけられないかを地元の漁師やお年寄りに相談したところ、切込みが一番美味しいという結論に至ったそうです。

最近では町外の事業所と協力して商品開発も行い、ホッケの切り身を作る際、魚卵が無駄になることから有効活用を模索し、しいたけにホッケの卵とノリを用いた佃煮を開発するなど、新たな付加価値作りにも力を入れているそうです。

現在、佐藤さんは羊のサフォークなどの養羊も親族と共に手掛けており、将来的には「上ノ国のサフォーク」をブランド化して特産品とし、まちの魅力の一つにして付加価値を育てていきたいと話していました。

